

単元名 めざせ楽き名人(1)

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりに気付くとともに、互いの音や伴奏を聴きながら演奏する技能や、条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする技能を身に付けることができる。
- (2) 音色や旋律、伴奏の速度やリズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴を捉えた表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもったり、即興的に表現することを通して、音楽づくりの発想を得たりすることができる。
- (3) リコーダーによる表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

03070202_001

【教材名】かえり道（器楽） レッツゴーソーレー（器楽） (P. 30～P. 31)

【準備等】範奏CD、リコーダー

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 「かえり道」をリコーダーで演奏したり、＜ラドレでリレー＞で音をつなぐ活動をしたりする。</p> <p>○ 範奏を聴いて旋律を覚えたり、階名唱したりする。</p> <p>★ せんりつの感じを生かしてリコーダーで歌おう</p> <p>○ ラード、ラード→レの練習をする。</p> <p>・ レのときの楽器の支え方を定着させる。</p> <p>○ まっすぐな息でゆったりと演奏する。</p> <p>○ ラドレの3音を、いろいろな音の順番で4分音符のリズムで吹いてつなげる。</p> <p>・ 旋律づくりの方法を知る。</p> <p>・ 各自旋律をつくり、練習する。</p> <p>・ つくった旋律を発表し、感じたことを話し合う。</p> <p>2 「レッツゴーソーレー」をリコーダーで二重奏する。</p> <p>○ 主旋律を演奏する。</p> <p>・ 範奏を聴いて主旋律を覚えたり、階名唱したりする。</p> <p>・ シ→レ、ソラシドレ、レドシラソの運指をゆっくり練習する。</p> <p>○ 速さの違う伴奏に合わせて演奏する。</p> <p>○ 二重奏する。</p> <p>・ パートの関わり合いを聴きながら演奏する。</p>	<p>・ 学習していない音が出てくる曲であることに気付かせる。</p> <p>【共通事項】旋律 リズム</p> <p>・ 高いドとレは右手の支えが大切であるので、一人一人確認する。</p> <p>・ 曲の中での音の動きを部分的に取り上げながら練習するとよい。例えば「ラード→ラ」や「ラード→レ」など。</p> <p>【新出】リコーダー「高いド 高いレ」の運指</p> <p>・ 「かえり道」は、「ル」のタンギングで吹かせるとよい。</p> <p>・ 隣の児童とペアになって1段ずつ交互に演奏し、指づかいを見合うなどして、確認させる</p> <p>【評】リコーダーの音色と演奏の仕方との関わりを捉える活動を通して「知識」を評価する</p> <p>・ P. 23＜シラソでリレー＞を復習するとよい。</p> <p>【評】リコーダーによる表現活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <p>・ 軽快な曲想と、音の重なりの美しさを感じ取らせる。</p> <p>・ 音が雑にならないように、息やタンギングに注意させる。</p> <p>・ ゆっくりとした伴奏に合わせて、主旋律を演奏する。</p> <p>・ 範奏CDを活用するとよい。</p> <p>【評】音色や旋律、伴奏の速度やリズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさを感じ取りながら、曲想にふさわしい演奏の仕方を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・ パートを交代しながら行う。</p> <p>・ 演奏するグループと聴くグループに分かれて聴き合わせるとよい。</p> <p>【共通事項】音の重なり</p> <p>【評】互いの音や伴奏を聴きながら演奏したり条件に基づいて即興的に音を選んだりつなげたりする活動を通して「技能」を評価する。</p>

【 備 考 】